

☆ 中国

繊維政策

紡織強国建設要綱 2011-2020 を発表

中国紡織工業連合会はこのほど、紡織強国建設要綱（2011-2020年）を発表した。「科学技術力の強化」、「ブランドの構築」、「持続可能な開発」、「人材育成の強化」の4つを軸に、2020年までに一定規模以上の繊維企業の工業総生産を2010年比で3倍以上に拡大し、衣料品の輸出を年平均で7%伸ばし、繊維品の輸出を4,000億ドルに拡大するとの目標を掲げた。

- 1) 科学技術力の強化：2020年までに規模以上企業の研究開発投入の割合を1.5%以上に高める。
- 2) ブランドの構築：ブランド価値を高め、規模以上企業全体に対する上位10%のリーディングカンパニーの売上高の割合を30%以上に、利益を全体の50%以上に拡大し、自主ブランドの輸出を倍にする。
- 3) 持続可能な開発：低炭素経済、グリーン経済、循環経済の持続可能な発展様式の構築を目指し、2015年までに2010年比で、単位工業増加値当たりのエネルギー消費を20%、二酸化炭素排出量を20%、水の使用を30%、主要汚染物質の排出量を10%削減する。第13次5ヵ年計画の期間中（2016-2020年）は更なる削減を目指し、基本的なリサイクルシステムを構築し、繊維製品のリサイクルの総量を1,200万トンまで拡大する。
- 4) 人材育成の強化：規模以上企業の専門技術スタッフの全体に占める割合を20%に高め、技術スタッフのうち、高度技術スタッフの割合を26%に引き上げる。

繊維業況

繊維業界の在庫が増加

2012年第1四半期の繊維、毛皮の上場企業85社の在庫高は、731.7億元に達し、前年同期の623.2億元に比べ108.5億元、17.4%も増加した。85社中73社の在庫が1億元を超え、13社の在庫は10億元を超え、6社の在庫が20億元を超えた。そのうち、雅戈尔、鄂尔多斯、紅豆など4社の在庫は30億元を超えた。中でも、雅戈尔は237.03億元となった。在庫の増加は販売の不振が影響しているという。

国家綿花市場観測システムのサンプル調査によると、第1四半期の繊維企業の綿花在庫量は38.5日、前月比6.6日分の増となり、綿花価格の高騰があった前年同期比でも0.8日分の減少にとどまり、過去3年の平均より2.4日分の増加となった。全国綿花在庫数量は、約105.1万トンと過去3年の平均在庫に比べ5.3%増となっている。

2012年第1半期の綿紡績企業8社の合計在庫高は51.79億元、前年同期の47.76億元を8%、4.03億元上回った。8社のうち5社の在庫が増えている。

関連データによると、化繊企業も現在、通常の約2倍に相当する約30日分の在庫を抱えているという。専門家によると、糸の在庫は消化の方向であったが、生地在庫量は多く、こうした生地の大量在庫が繊維産業チェーンの需要低迷に影響を与えているという。

☆タ イ

業 績

Indorama Ventures、純利益85%減---2012/Q1

Indorama Ventures PCL (IVL) は、第1四半期(1-3月期)の業績を発表した。これによると、純利益は経費の拡大により、前年同期の111.5億バーツから16.9億バーツ(5,430万ドル)に84.8%減少した。総収入が前年同期の473.5億バーツから536.6億バーツに増加した一方で、支出が359.9億バーツから517.8億バーツに急増した。

☆イ ンド

合繊設備

DuPont、弾道検査設備を設置

米DuPontはインドのHyderabadにある同社施設DuPont Knowledge Center内に最新の弾道検査設備を設置した。同設備には弾道検査用の射撃場や試験設備等が整備されている。この設備は、同社の弾道保護用の材料試験に使用する目的としては5番目のものとなる。同社は今後、今まで以上に顧客と連携し、先端素材の提供に取組みたいとコメントしている。

同社は40年以上、防護服素材としてアラミド繊維Kevlarを提供している。そのほか、宇宙産業や石油、ガス、代替エネルギー、自動車産業などでも使用されている。

☆オーストリア

業 績

Lenzing、販売価格下落を受け減収減益---2012/Q1

Lenzingグループは2012年第1四半期の決算を発表した。繊維の平均販売価格が前年同期と比較し11%落ち込んだものの、過去最高の販売量が貢献し、連結売上は前年同期比0.7%減の5.28億ユーロと微減にとどまった。純利益は同27.7%減の4,840万ユーロであった。繊維部門の売上は、同1.5%減の4.74億ユーロであった。

同社は、第1四半期の市場環境は前年より厳しく、現在世界の繊維市

場は整理統合の段階にあると分析。第2四半期は、世界経済の回復を受けて需要増加とそれに伴う販売価格の上昇が予測されており、最近では中国における消費や米国経済の穏やかな回復など前向きな兆候に加えて、低い綿花収穫量を受けて、繊維価格に弾みがつくとの見方もある。

2012年度は、前年度業績は下回るものの、販売量は81万ト、販売価格の下落にもかかわらず、連結売上を22-23億ユーロに押し上げる見通し。繊維及び原料価格の動向、及び世界経済の動向次第だが、以前の発表の通りEBITDAは4-4.8億ユーロ、EBITは2.85-3.65億ユーロを見込んでいる。

同社は、2015年までにセルロース生産120万トを目指し、今後も能力拡張を推進するという。

(100万ユーロ)

	2011年 1-3月期	2012年 1-3月期	前年比 (%)
売上高(連結)	532.1	528.2	-0.7
EBITDA	114.9	93.1	-19.0
EBIT	90.7	67.2	-25.9
EBT	84.8	66.6	-21.5
純利益	66.9	48.4	-27.7
従業員数(人)	6,444.0	6,678.0	3.6

以上